

資料 6. 事前評価表

1. 協力対象事業名
キルギス共和国 産婦人科病院医療機材整備計画
2. 我が国が援助することの必要性・妥当性
<p>(1) 我が国が援助することの必然性・妥当性</p> <p>キルギスはソ連崩壊後の新たな自由主義国家として、その民主化、市場経済導入の動きは ODA 大綱の観点から望ましいものであるため、同国が人材不足や経済インフラの老朽化などの問題に効率的に対処し、経済的な困難を克服して国づくりを行えるように、我が国は積極的な支援を行っている。</p> <p>(2) 当該プロジェクトを実施することの必要性・妥当性</p> <p>1991 年 8 月の独立以来、GNP が半減するほどの経済状況の悪化が続き、財政全般が逼迫し続けている。その結果、保健医療の分野においても予算が縮減し、各医療施設では医療品不足や医療機器の老朽化が進み、質・量両面にわたる診療機能の低下が生じている。</p> <p>同国は世銀等の国際機関やその他の援助を受けて策定した「マナス保健計画」の下、旧ソ連邦時代の専門別・入院治療重視型医療サービス体制からプライマリ・ヘルスケア重視、受益者負担の医療保険制度導入に加えて、病院の統廃合・病床数・職員数の削減を積極的に行い合理的・効率的医療サービス体制の構築を目指して改革を進めている。</p> <p>産婦人科医療においては、首都ビシュケク市のヒューマン・リプロダクションセンター及び各州の州立統合病院が第三次医療機関（婦人科手術、新生児医療、ハイリスク妊婦の出産への対応など、高度な医療を提供する機関）として位置付けられる。しかしながら、ヒューマン・リプロダクションセンター及びナリン、イシククル、タラスの各州立統合病院は、多くの機材が更新されておらず、第三次医療機関としての医療サービスが提供できない状況にある。</p>
3. 協力対象事業の目的(プロジェクト目標)
本プロジェクトは、ヒューマン・リプロダクションセンター等 4 施設の産婦人科診療機能に関する医療機材を整備することにより、母子医療サービスの向上を目的とする。
4. 協力対象事業の内容
<p>(1) 対象地域： キルギス国全土及びナリン州・イシククル州・タラス州の 3 州</p> <p>(2) アウトプット</p> <p>ヒューマン・リプロダクションセンター（婦人科に産科を加えて名称を「国立産婦人科センター」と変える予定）・ナリン州立統合病院・イシククル州立統合病院及びタラス州立統合病院の 4 施設の産婦人科診療機材が整備される。</p> <p>(3) インプット</p> <p>日本側：ヒューマン・リプロダクションセンター及びナリン州立統合病院、イシククル州立統合病院及びタラス州立統合病院に対する産婦人科診療関連機材の調達</p> <p>相手国側：</p> <p>ヒューマン・リプロダクションセンターの産科機能増設に伴う施設の改修工事及び既存機材撤去工事</p> <p>ナリン州立統合病院、イシククル州立統合病院及びタラス州立統合病院の機材調達に伴う施設の改修工事及び既存機材撤去工事</p>

(4) 総事業費

概算事業費 6.98 億円、(日本側 6.89 億円、キルギス側 0.09 億円)

(5) スケジュール

詳細設計期間を含め約 13 ヶ月を予定

(6) 実施体制

実施機関：財務省

運営機関：保健省及び各対象施設

5. プロジェクトの成果

(1) プロジェクトの裨益対象の範囲及び規模

キルギス国の妊娠可能年齢女性(約 124.2 万人)及び特にナリン州(58.8 千人)・イシククル州(104.4 千人)・タラス州(50.1 千人)の妊娠可能年齢女性

(2) 事業の目的(プロジェクト目標)達成を示す成果指標

プロジェクト目標：産婦人科第三次医療サービスの改善・拡充

成果指標：

ヒューマンリプロダクションセンター

	2001 年(実施前)	2005 年(実施後)
超音波診断数	21,184 件/年	増
心電図検査数	2,444 件/年	増
X線検査件数	0 件/年(注1)(10,956)	増
乳房X線検査件数	0	増
手術件数	758 件/年	増
リファレル入院患者率(注2)	24.6%	増

注1：別施設委託

注2：入院患者のうち下位医療機関からの紹介患者率

ナリン州立統合病院産婦人科

	2001 年(実施前)	2005 年(実施後)
超音波診断数	1,210 件/年	増
心電図検査数	119 件/年	増
手術件数	150 件/年	増
リファレル入院患者率	73.5%	増

注：別施設委託

イシククル州立総合病院産婦人科

	2001年（実施前）	2005年（実施後）
超音波診断数	0件/年	増
心電図検査数	182件/年	増
X線検査件数	243件/年	増
手術件数	213件/年	増
リファレル入院患者率	77.6%	増

タラス州立総合病院産婦人科

タラス州立総合病院産婦人科	2001年（実施前）	2005年（実施後）
超音波診断数	1,500件/年	増
心電図検査数	365件/年	増
X線検査件数	660件/年	増
手術件数	600件/年	増
リファレル入院患者率	56.5%	増

6. 外部要因リスク

(1) 維持管理体制の整備

キルギス側（保健省及び各対象施設）が本協力対象事業によって調達される機材及び現有機材をより良好な状態で継続使用する為の予算（医療用消耗品・スベアパーツ費）を確保するとともに、維持管理を行う人材の確保と継続的な研修を行うこと。

(2) 医療費支払制度の普及

2001年から2002年にかけて導入された医療保険制度による患者の医療費一部負担「共払い制度」がより広く確実に実行されること。

7. 今後の評価計画

(1) 事後評価に用いる成果指標

対象施設における年間の超音波診断数・心電図検査数・X線検査数・乳房X線検査件数・手術件数及びリファレル入院患者率

(2) 評価のタイミング

2005年以降